

令和3年度 家庭科 授業改善推進プラン

大田区立仲六郷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・ 少人数グループでアドバイスをし合いながら活動に取り組み、技術の習得が高まっている場面があった。
- ・ 調理実習ができない中でも、家庭学習の課題とするなど児童が調理をする機会をつくり、意欲的に取り組ませることができた。

(2) 課題

- ・ 技能の習得では個人差が大きく、個別に支援が必要な児童もいた。
- ・ 各家庭の生活や環境が異なるため、自分の生活を振り返るときに意欲や思いに差が出る場面があった。



2 授業改善のポイント

- ・ 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 技能の習得の場面では、ICT機器なども活用し、確実に定着させるために児童が実践しやすい題材を選ぶ。(5年) ・ 技能の習得場面では、実物投影機などを活用して見やすく拡大したり、少人数グループによる学び合いの場を設定したりする。(6年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭生活を振り返り、より良い生活を目指すために、長期休業時などに計画・実践できるような内容を提案する。実践した内容は目に見える形にまとめ、友達と共有する時間をもつ。(5年) ・ 自分なりの課題を解決する楽しさや実生活への期待がもてるように、家庭と連携しながら実生活との関連を図った学習を効果的に取り入れる。(6年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭科学習ノートを活用して、学習のねらいや実践の計画をしっかりと立て、見通しをもたせる。また、計画をもとに主体的に活動できるようにする。(5年) ・ 自分の生活を振り返り、5学年の既習事項や経験を生かして実行できるような実践的な場を設けるとともに、家庭科ノートを活用して計画的に学習に取り組ませる。(6年)

